

各検疫所 御中

健康局 結核感染症課

医薬・生活衛生局生活衛生・食品安全部
企画情報課検疫所業務管理室

クリミア・コンゴ出血熱に係る注意喚起について

クリミア・コンゴ出血熱については、平成 28 年 9 月にスペイン首都マドリッドにおいて、西ヨーロッパで最初の国内感染例の発生が確認されたことから注意喚起を行いましたが、今般、モーリタニアにおいてクリミア・コンゴ出血熱の発生が確認されたことから、改めて海外渡航者に対して注意喚起を行うこととしたところです。

クリミア・コンゴ出血熱に関しては、ウイルスを有するマダニに咬まれること、ウイルスに感染した動物や人の血液等に接触することを通して感染することが知られており、発生地域に渡航される際には、ダニに咬まれない、家畜などにむやみに触れない等の予防措置を講じるとともに、もし発生地域から帰国し、疑わしい症状がある場合には、早期に医療機関を受診し、適切な治療を受けることが重要です。

つきましては、別添啓発資料により引き続き、発生地域への渡航者に対する注意喚起や、帰国・入国者に対する自己申告の呼びかけ等について、御対応方よろしく申し上げます。

<クリミア・コンゴ出血熱について>

発生地域：中国西部、東南アジア、中央アジア、中東、ヨーロッパ、アフリカ。

感染経路：ウイルスを保有したマダニに咬まれたり、感染動物（特にヒツジなどの家畜）の血液等と接触したりして感染する。

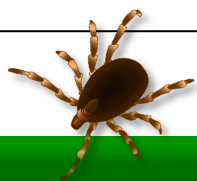
主な症状：2～9日の潜伏期ののち、発熱、関節痛、発疹、紫斑（出血）、意識障害など。

感染予防：草の茂ったマダニの生息する場所に入る場合には、長袖、長ズボンを着用し、素足でのサンダル履き等は避ける。また、家畜などにむやみに触れない。

別添啓発資料：海外でクリミア・コンゴ出血熱による死亡例が発生しています

参考：クリミア・コンゴ出血熱について

<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000135514.html>



海外で クリミア・コンゴ出血熱 による死亡例が発生しています！

渡航中は、 ダニに 咬まれないよう 注意してください！



○草むらに入る場合は**長袖、長ズボン**を着用し、素足でのサンダル履き等は避けてください。

○**家畜**などにむやみに触れないでください。



クリミア・コンゴ出血熱

【主な症状】

2～9日の潜伏期ののち、発熱、関節痛、発疹、紫斑（出血）、意識障害など。

【感染経路】

ウイルスを保有したマダニに咬まれたり、感染動物（特にヒツジなどの家畜）と接触したりして感染する。

【発生地域】

中国西部、東南アジア、中央アジア、中東、ヨーロッパ、アフリカ。

詳しくは
→ → →

検疫所ホームページ FORTH

<http://www.forth.go.jp>

FORTH クリミア・コンゴ

